

## 「防災意識に関するアンケート」 調査結果

山梨県では、県民一人ひとりの防災意識の高揚を図るため「山梨県防災基本条例」を制定し、本年4月1日から施行するなど、防災・減災についての取組みを推進しているところです。

この度のアンケート調査は、県民の皆さまから防災対策などに関する御意見などをお聞きし、これから県が防災・減災対策に取り組む上の参考資料として活用させていただくことを目的に実施しました。

ご協力いただいた県政モニターの皆さまには、非常に有益な御意見や御提案を多数いただきました。厚く御礼申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

山梨県 防災局 防災危機管理課

防災企画担当（企画） 秋山、深沢

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

TEL：055-223-1432 FAX：055-223-1429

e-mail：bosai@pref.yamanashi.lg.jp

## アンケートの実施及び回答状況

1. アンケートの実施時期 平成30年6月

2. 県政モニター数

郵送	248人
インタ-ネット	150人
合計	398人

3. 回答者数

郵送	211人
インターネット	126人
合計	337人

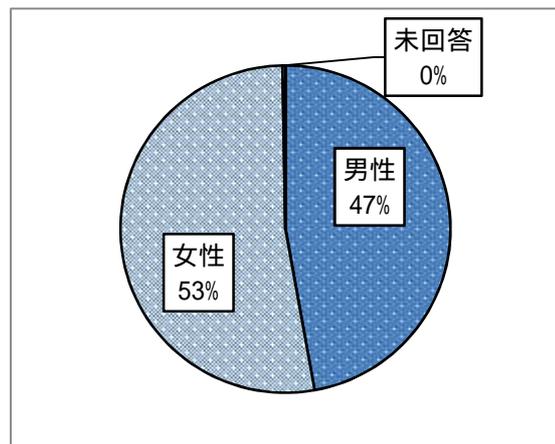
4. 回答率

郵送	85.1%
インターネット	84.0%
合計	84.7%

## 回答者の属性について

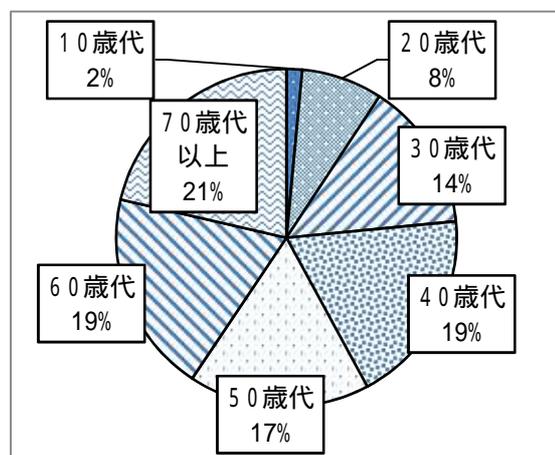
【F1】あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

	回答	人数
1	男性	159人
2	女性	177人
3	未回答	1人
	計	337人



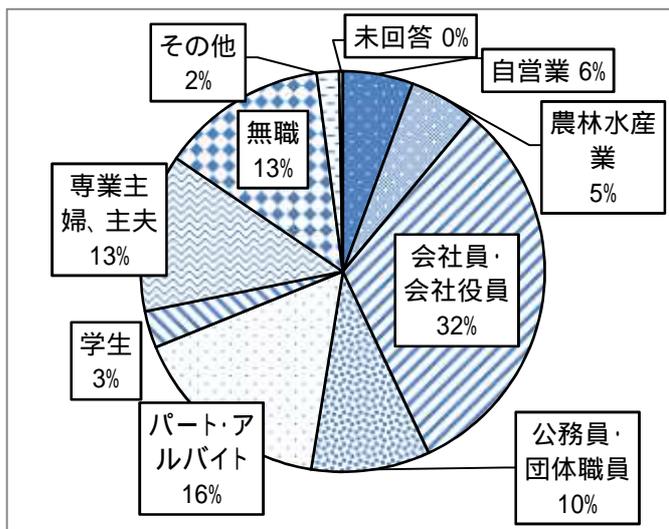
【F2】あなたの年齢を教えてください。

	回答	人数
1	10歳代 (19歳以下)	5人
2	20歳代 (20歳~29歳)	26人
3	30歳代 (30歳~39歳)	48人
4	40歳代 (40歳~49歳)	63人
5	50歳代 (50歳~59歳)	58人
6	60歳代 (60歳~69歳)	65人
7	70歳代以上	72人
	計	337人



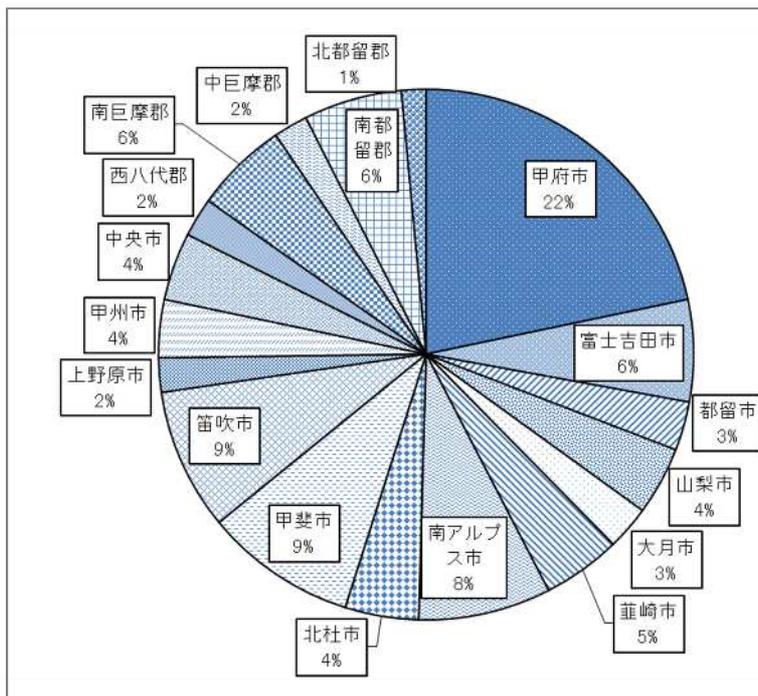
【F3】あなたの職業を教えてください。(1つ選択)

	回答	人数
1	自営業	19人
2	農林水産業	18人
3	会社員・会社役員	108人
4	公務員・団体職員	32人
5	パート・アルバイト	55人
6	学生	10人
7	専業主婦、主夫	43人
8	無職	45人
9	その他	6人
10	未回答	1人
	計	337人



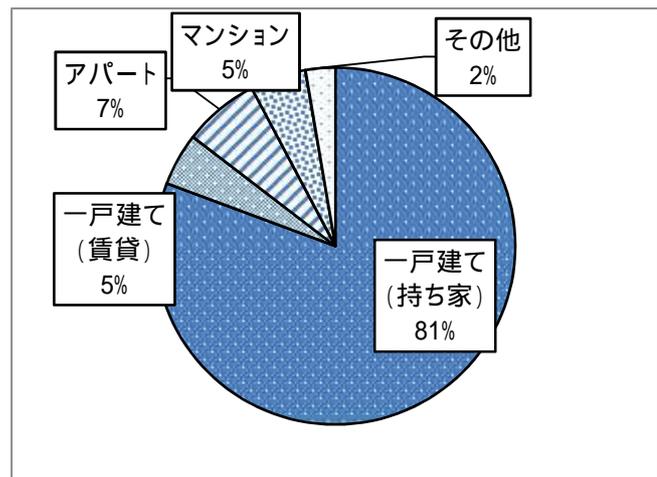
【F4】居住地域を教えてください。(1つ選択)

	回答	人数
1	甲府市	73人
2	富士吉田市	21人
3	都留市	10人
4	山梨市	14人
5	大月市	9人
6	韮崎市	16人
7	南アルプス市	27人
8	北杜市	15人
9	甲斐市	31人
10	笛吹市	29人
11	上野原市	7人
12	甲州市	12人
13	中央市	14人
14	西八代郡	8人
15	南巨摩郡	19人
16	中巨摩郡	7人
17	南都留郡	20人
18	北都留郡	5人
	計	337人



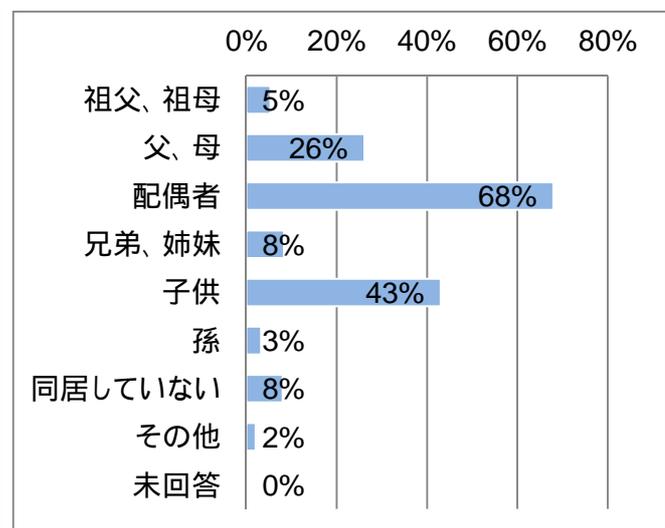
【F 5】あなたの居住している形態を教えてください。(1つ選択)

	回答	人数
1	一戸建て(持ち家)	272人
2	一戸建て(賃貸)	16人
3	アパート (木造、プレハブ造で2~3階)	23人
4	マンション(鉄骨造で3階以上)	17人
5	その他	9人
	計	337人



【F 6】あなたの同居している家族構成を教えてください。(複数回答可)

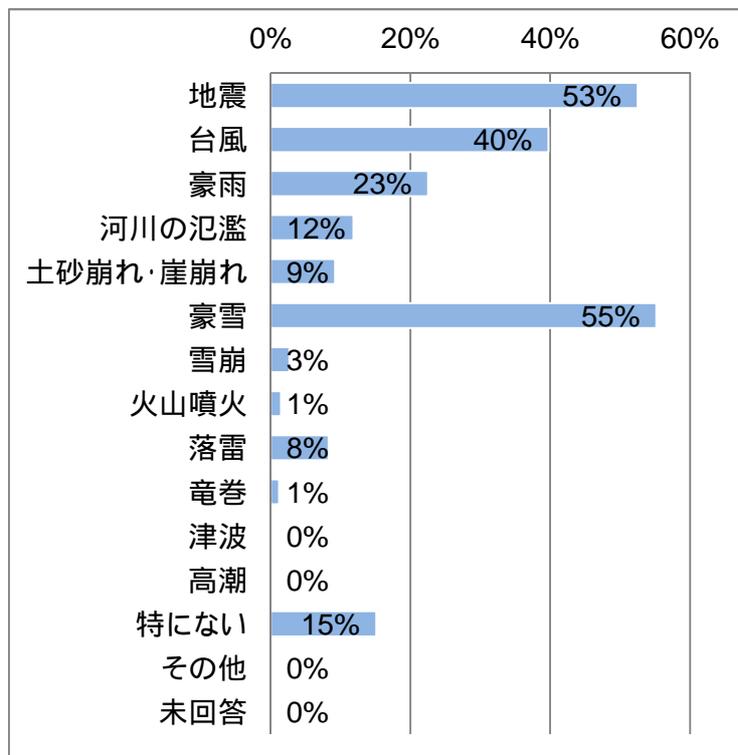
	回答	人数	割合
1	祖父、祖母	18人	5%
2	父、母	88人	26%
3	配偶者	229人	68%
4	兄弟、姉妹	28人	8%
5	子供	145人	43%
6	孫	11人	3%
7	同居していない	27人	8%
8	その他	7人	2%
9	未回答	1人	0%
	計	554人	
	n	337人	



自然災害に関する意識について

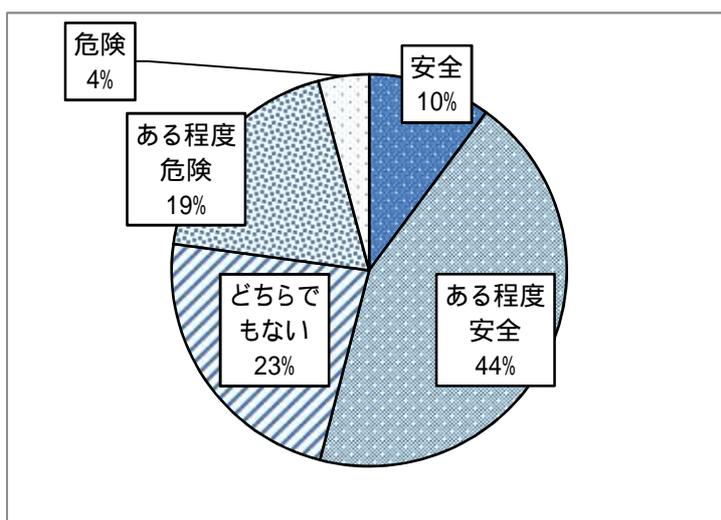
【問1】今まで被害を受けたり、危険を感じた自然災害は何ですか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	地震	177人	53%
2	台風	134人	40%
3	豪雨	76人	23%
4	河川の氾濫	40人	12%
5	土砂崩れ・崖崩れ	31人	9%
6	豪雪	186人	55%
7	雪崩	9人	3%
8	火山噴火	5人	1%
9	落雷	28人	8%
10	竜巻	4人	1%
11	津波	0人	0%
12	高潮	0人	0%
13	特にない	51人	15%
14	その他	1人	0%
15	未回答	1人	0%
	計	743人	
	n	337人	



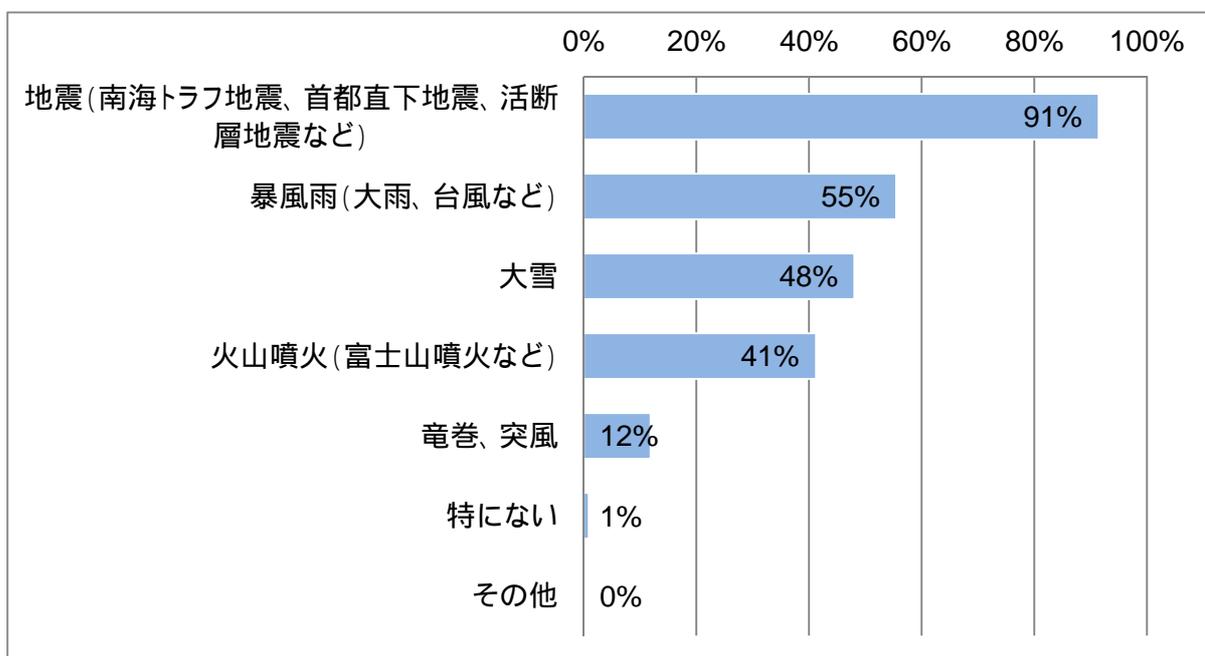
【問2】居住している地域は災害（地震、水害など）に対し安全だと感じていますか。（1つ選択）

	回答	人数
1	安全	34人
2	ある程度安全	148人
3	どちらでもない	78人
4	ある程度危険	63人
5	危険	14人
	計	337人



【問3】本県において、ご自身やご家族が、どのような自然現象などで被害を受けることを想定しますか。(複数回答可)

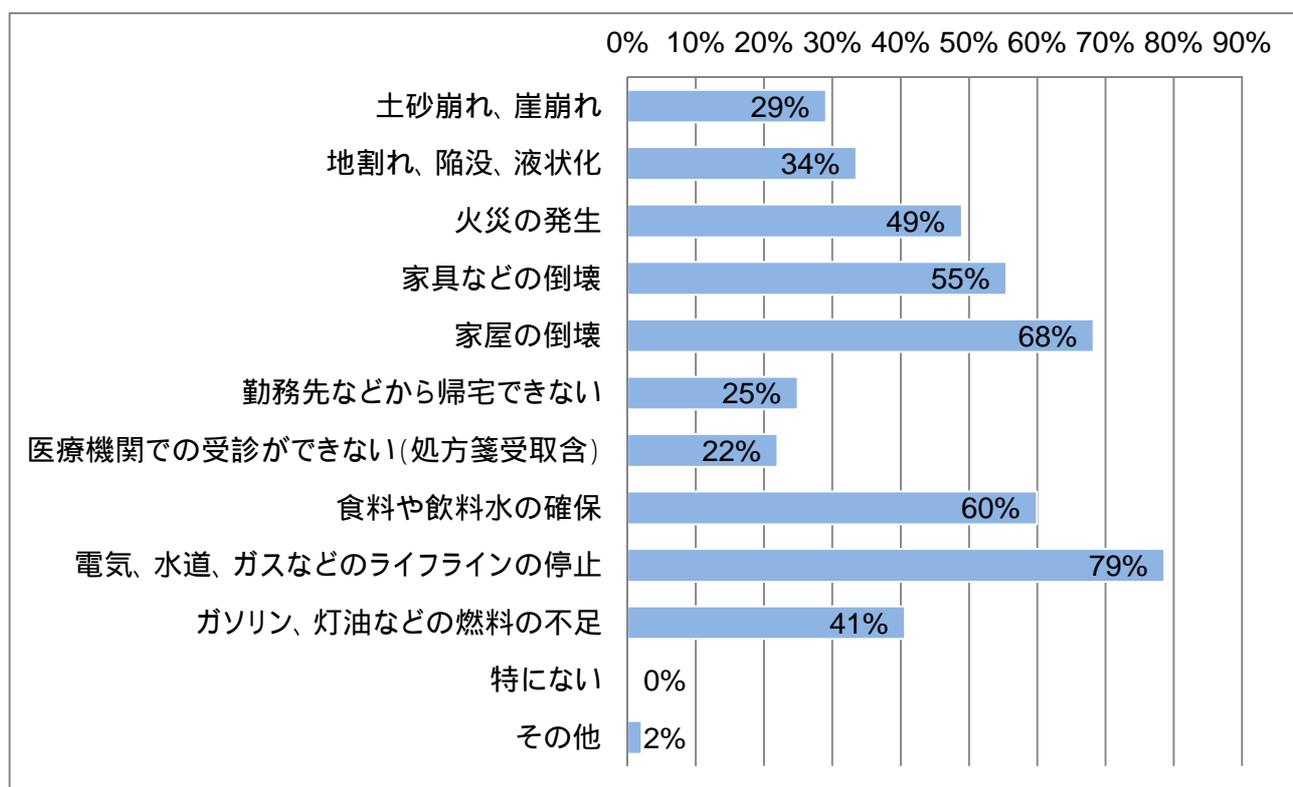
	回答	人数	割合
1	地震(南海トラフ地震、首都直下地震、活断層地震など)	308人	91%
2	暴風雨(大雨、台風など)	187人	55%
3	大雪	162人	48%
4	火山噴火(富士山噴火など)	139人	41%
5	竜巻、突風	40人	12%
6	特にない	3人	1%
7	その他	0人	0%
	計	839人	
	n	337人	



## 地震に対する対策について

【問4】大地震が発生した場合、どのような事態に不安を感じていますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	土砂崩れ、崖崩れ	98人	29%
2	地割れ、陥没、液状化	113人	34%
3	火災の発生	165人	49%
4	家具などの倒壊	187人	55%
5	家屋の倒壊	230人	68%
6	勤務先などから帰宅できない	84人	25%
7	医療機関での受診ができない(処方箋の受取含)	74人	22%
8	食料や飲料水の確保	202人	60%
9	電気、水道、ガスなどのライフラインの停止	265人	79%
10	ガソリン、灯油などの燃料の不足	137人	41%
11	特にない	1人	0%
12	その他	7人	2%
	計	1563人	
	n	337人	

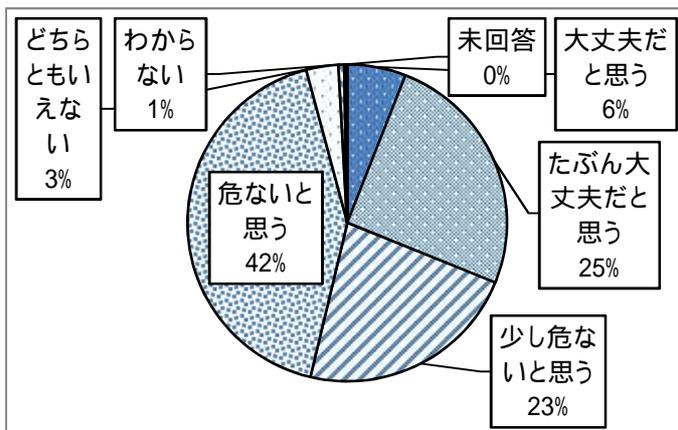


「その他」の意見

- ・ 保育園に通っている子供の安否
- ・ 猫を飼っており、一緒に逃げられるか
- ・ 小学生の子供が学校に行っているとき、無事に引き取りにいけるか
- ・ 車が使えるか

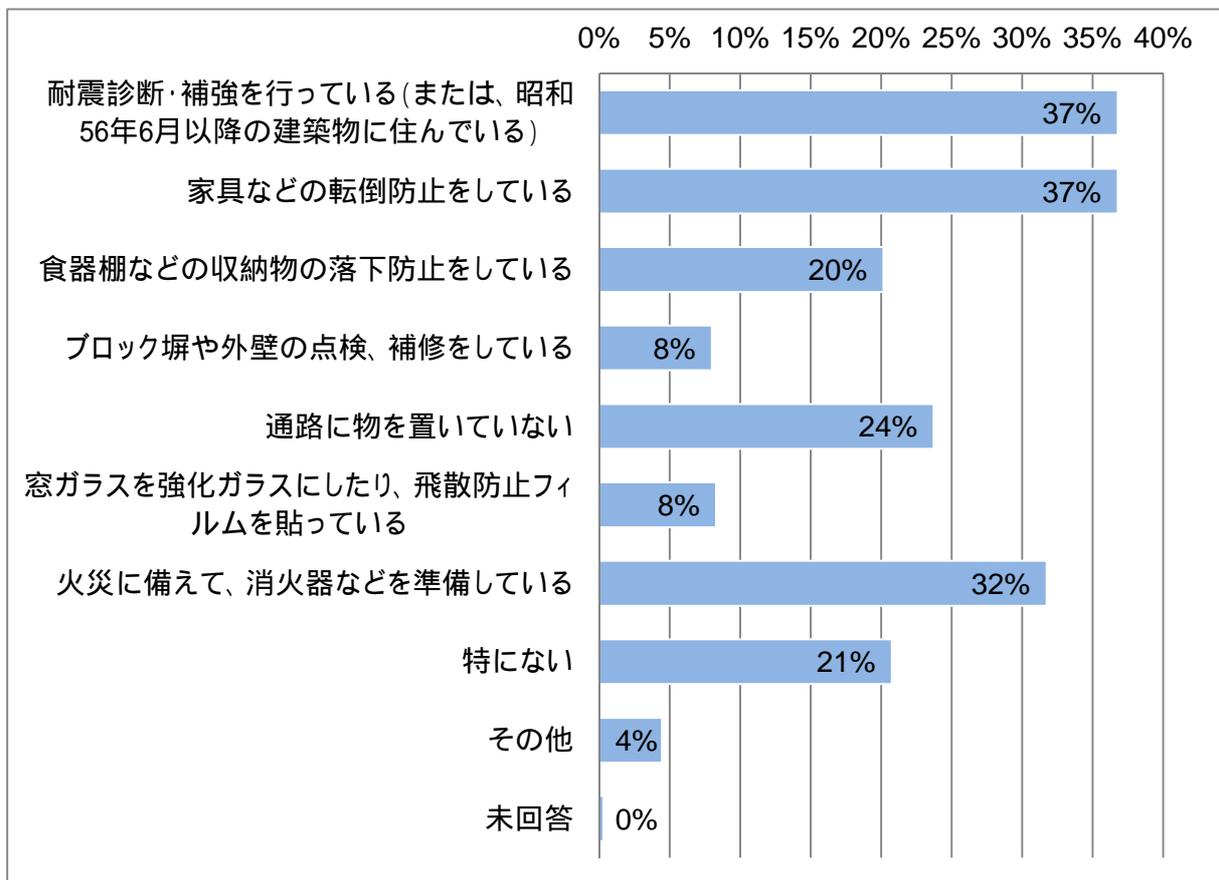
【問5】あなたのお住まいは、平成28年熊本地震のような大地震に対しても大丈夫だ（倒壊や損傷をしない）と思いますか。それとも危ないと思いますか。（1つ選択）

	回答	人数
1	大丈夫だと思う	20人
2	たぶん大丈夫だと思う	85人
3	少し危ないと思う	76人
4	危ないと思う	142人
5	どちらともいえない	11人
6	わからない	2人
7	未回答	1人
	計	337人



【問6】大地震が発生した場合に備えて、どのような地震対策をとっていますか。(複数回答可)

	回答	人数	割合
1	耐震診断・補強を行っている (または、昭和56年6月以降の建築物に住んでいる)	124人	37%
2	家具などの転倒防止をしている	124人	37%
3	食器棚などの収納物の落下防止をしている	68人	20%
4	ブロック塀や外壁の点検、補修をしている	27人	8%
5	通路に物を置いていない	80人	24%
6	窓ガラスを強化ガラスにしたり、飛散防止フィルムを貼っている	28人	8%
7	火災に備えて、消火器などを準備している	107人	32%
8	特にない	70人	21%
9	その他	15人	4%
10	未回答	1人	0%
	計	644人	
	n	337人	



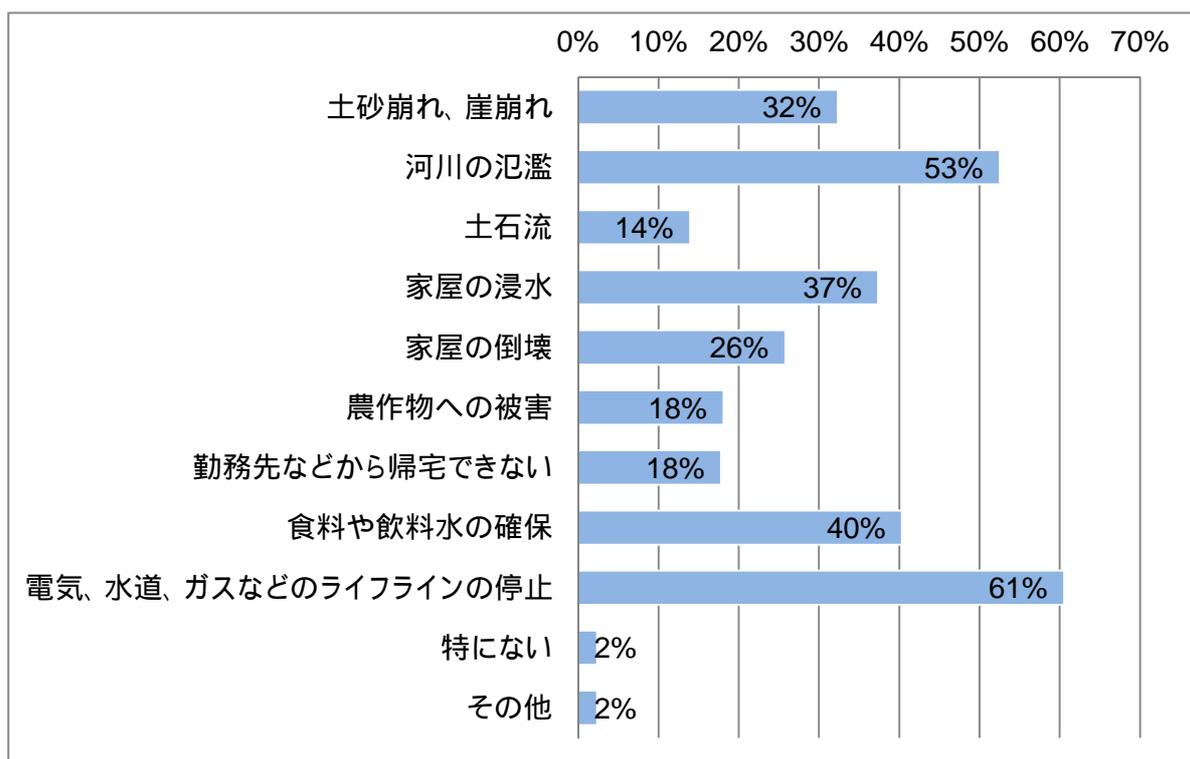
「その他」の意見

- ・耐震保険に加入している
- ・非常時持出物品の準備
- ・食料、ガスボンベ等の備蓄
- ・物を高く積まないようにしている
- ・布団(寝るところ)の周りに棚などを置かない

## 風水害に関する対策について

【問7】大雨や台風が発生した場合、どのような事態に不安を感じていますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	土砂崩れ、崖崩れ	109人	32%
2	河川の氾濫	177人	53%
3	土石流	47人	14%
4	家屋の浸水	126人	37%
5	家屋の倒壊	87人	26%
6	農作物への被害	61人	18%
7	勤務先などから帰宅できない	60人	18%
8	食料や飲料水の確保	136人	40%
9	電気、水道、ガスなどのライフラインの停止	204人	61%
10	特にない	8人	2%
11	その他	8人	2%
	計	1023人	
	n	337人	

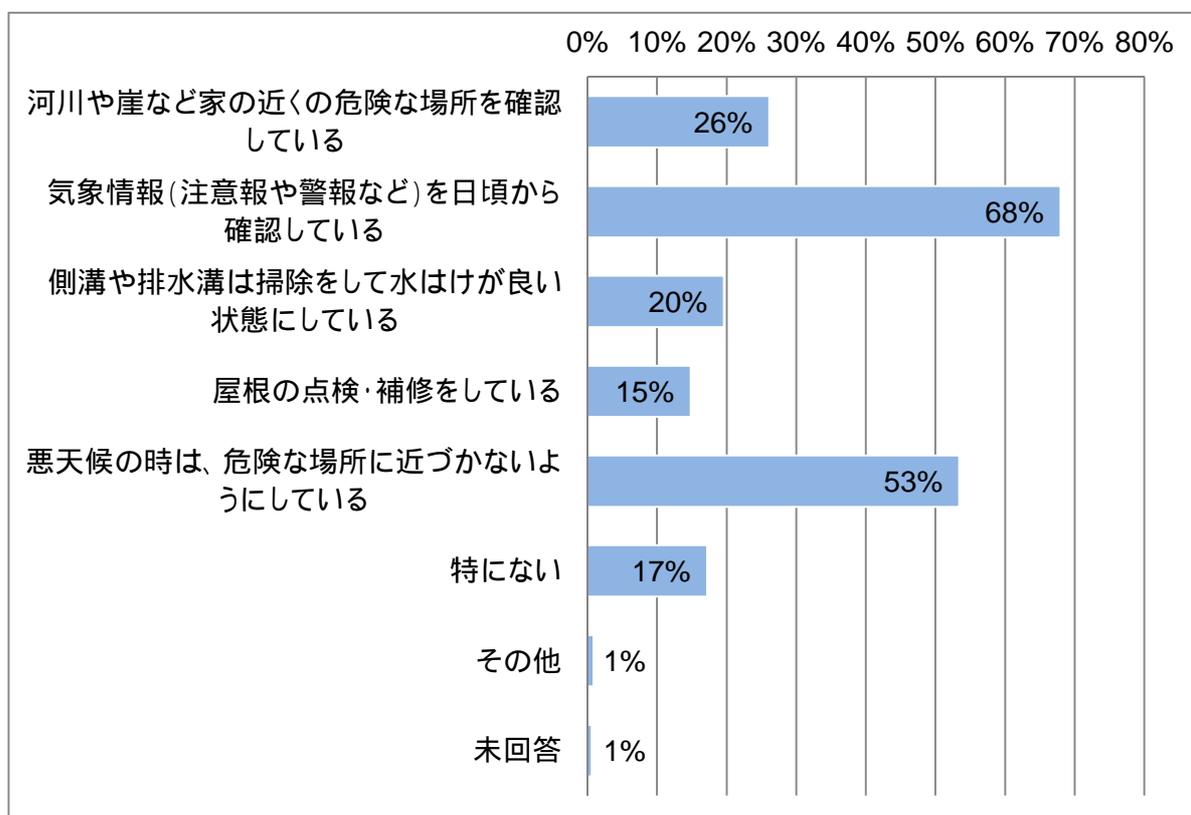


「その他」の意見

- ・倒木や飛来物
- ・ダムの決壊
- ・ペットの避難
- ・車への浸水
- ・増水した用水路などへの転落

【問 8】大雨による洪水や土砂崩れなどの風水害に備え、どのような対策をとっていますか。(複数回答可)

	回答	人数	割合
1	河川や崖など家の近くの危険な場所を確認している	88 人	26%
2	気象情報(注意報や警報など)を日頃から確認している	229 人	68%
3	側溝や排水溝は掃除をして水はけが良い状態にしている	66 人	20%
4	屋根の点検・補修をしている	50 人	15%
5	悪天候の時は、危険な場所に近づかないようにしている	180 人	53%
6	特にない	58 人	17%
7	その他	3 人	1%
8	未回答	2 人	1%
	計	676 人	
	n	337 人	

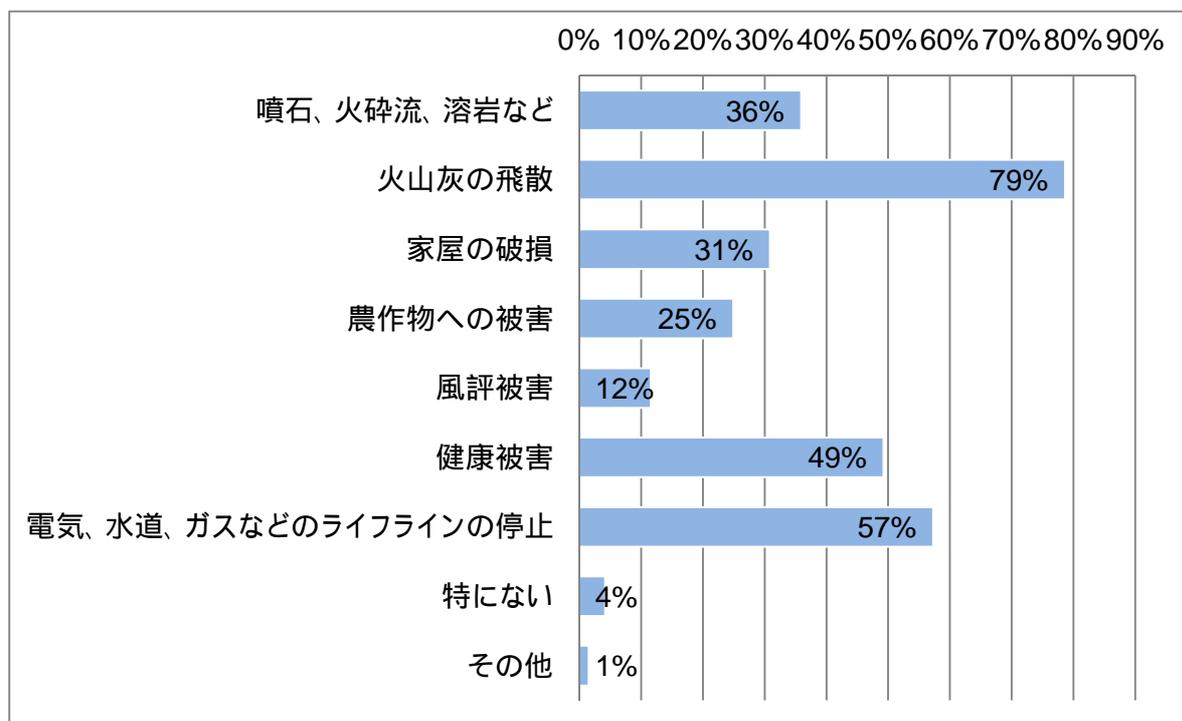


「その他」の意見  
 ・保険に入っている

## 火山噴火について

【問9】火山噴火が発生した場合、どのような事態に不安を感じていますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	噴石、火砕流、溶岩など	121人	36%
2	火山灰の飛散	265人	79%
3	家屋の破損	104人	31%
4	農作物への被害	84人	25%
5	風評被害	39人	12%
6	健康被害	166人	49%
7	電気、水道、ガスなどのライフラインの停止	193人	57%
8	特にない	14人	4%
9	その他	5人	1%
	計	991人	
	n	337人	

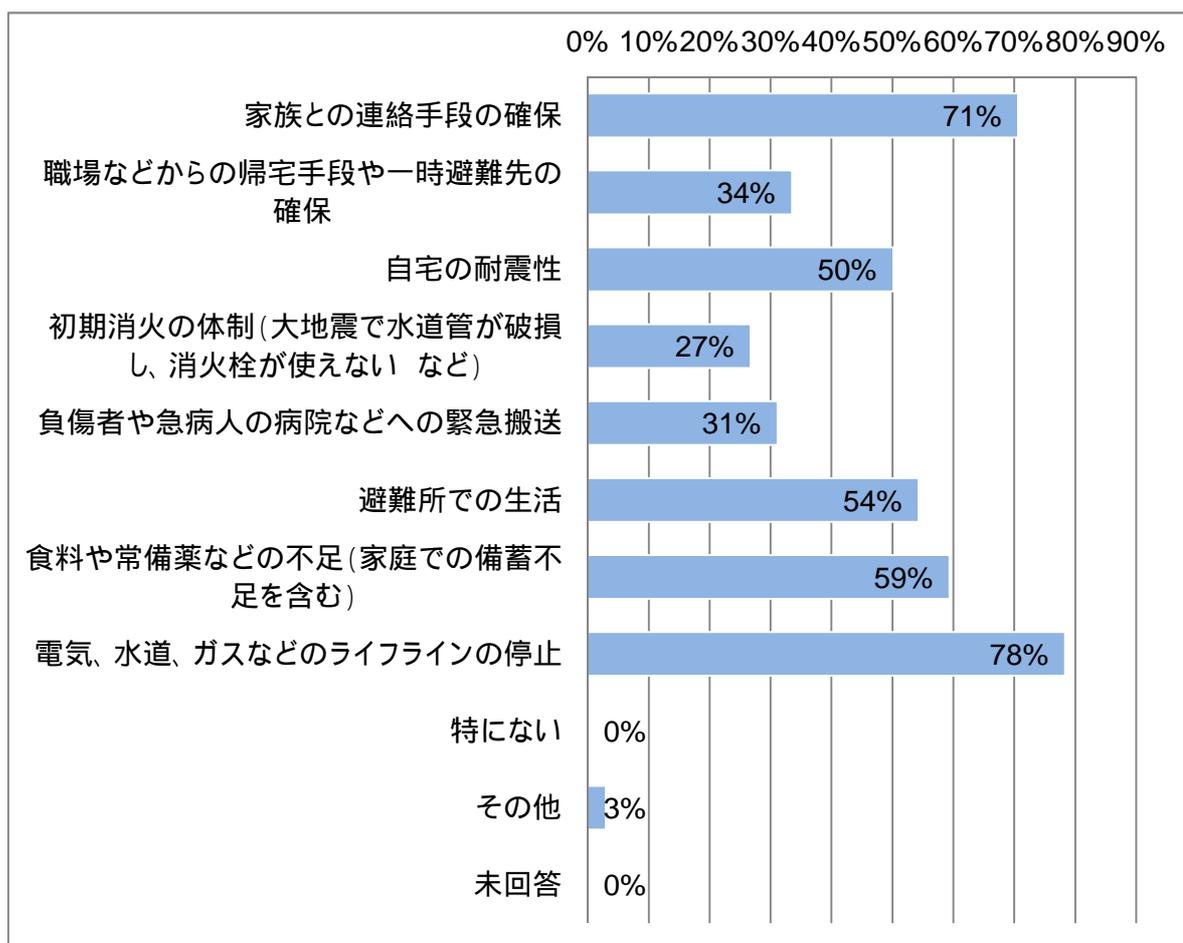


「その他」の意見

- ・富士山噴火による火山灰で首都機能が麻痺し、物流の停滞による食料品等の入手困難
- ・他県からの孤立

【問 10】実際に大規模な災害が発生した場合、どのようなことを不安に感じていますか。(複数回答可)

	回答	人数	割合
1	家族との連絡手段の確保	238 人	71%
2	職場などからの帰宅手段や一時避難先の確保	113 人	34%
3	自宅の耐震性	169 人	50%
4	初期消火の体制(大地震で水道管が破損し、消火栓が使えない など)	90 人	27%
5	負傷者や急病人の病院などへの緊急搬送	105 人	31%
6	避難所での生活	183 人	54%
7	食料や常備薬などの不足(家庭での備蓄不足を含む)	200 人	59%
8	電気、水道、ガスなどのライフラインの停止	264 人	78%
9	特にない	0 人	0%
10	その他	10 人	3%
11	未回答	1 人	0%
	計	1373 人	
	n	337 人	

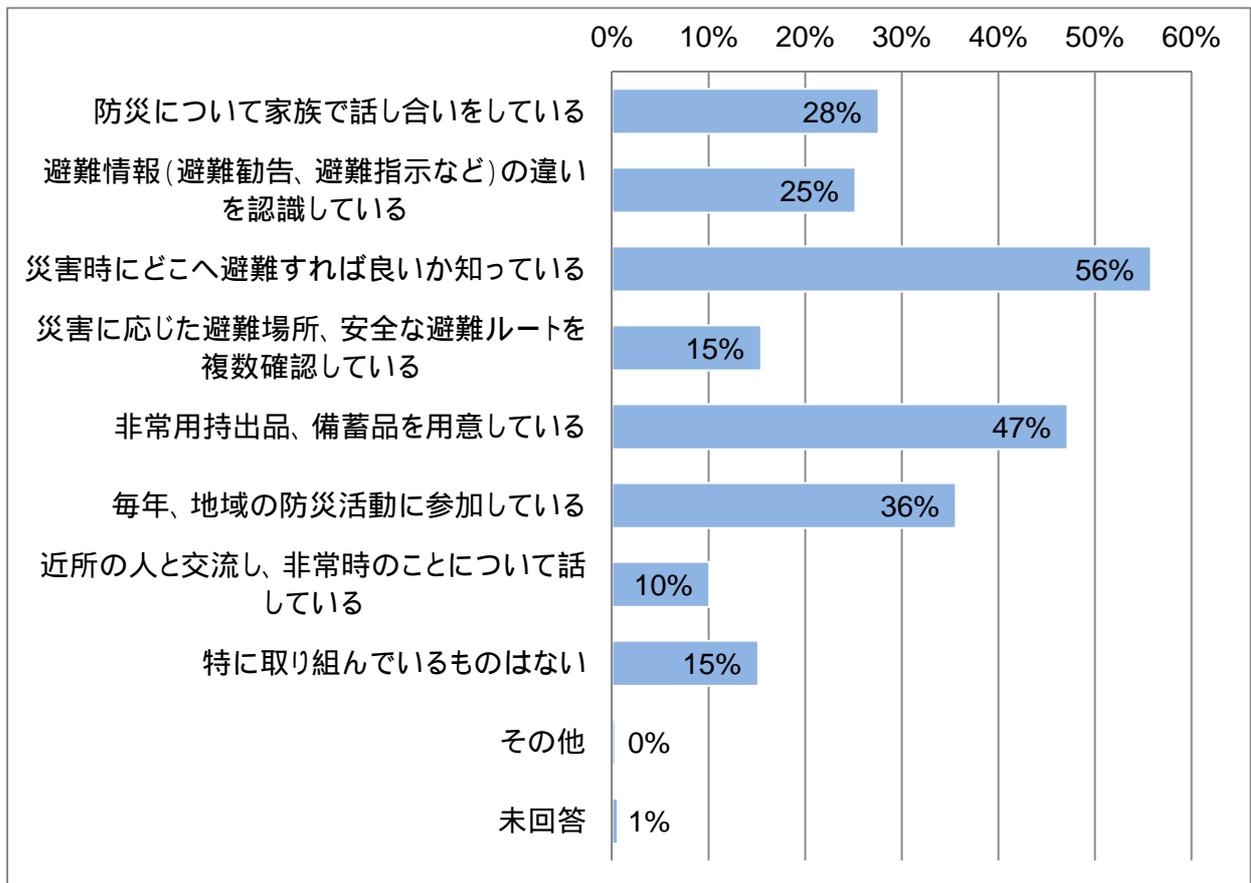


「その他」の意見

- ・ 職場から帰宅できなくなった場合の子供の迎え、子供の命の保証
- ・ ペットがいるので避難所に入れるかどうか
- ・ 孤立状態となること(県単位にも、地域的にも)

【問 11】 様々な災害に備え、日頃からどのような対策をとっていますか。(複数回答可)

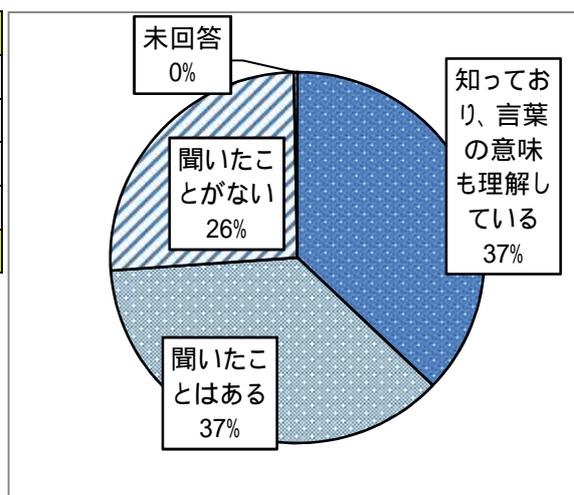
	回答	人数	割合
1	防災について家族で話し合いをしている	93 人	28%
2	避難情報(避難勧告、避難指示など)の違いを認識している	85 人	25%
3	災害時にどこへ避難すれば良いか知っている	188 人	56%
4	災害に応じた避難場所、安全な避難ルートを複数確認している	52 人	15%
5	非常用持出品、備蓄品を用意している	159 人	47%
6	毎年、地域の防災活動に参加している	120 人	36%
7	近所の人と交流し、非常時のことについて話している	34 人	10%
8	特に取り組んでいるものはない	51 人	15%
9	その他	1 人	0%
10	未回答	2 人	1%
	計	785 人	
	n	337 人	



地域の活動について

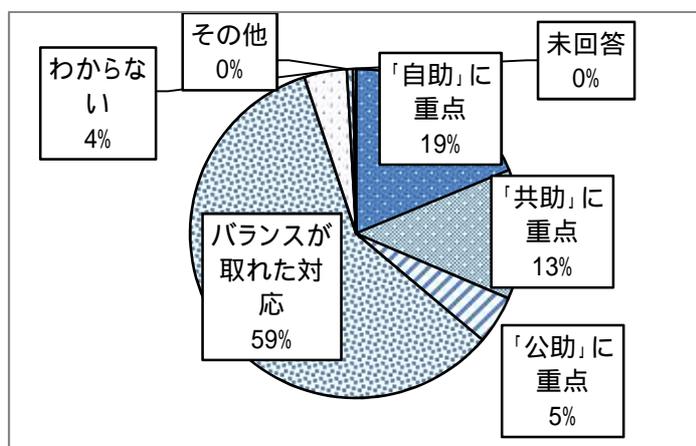
【問 12】「自助」「共助」「公助」について知っていますか。(1つ選択)

	回答	人数
1	知っており、言葉の意味も理解している	125 人
2	聞いたことはある	124 人
3	聞いたことがない	87 人
4	未回答	1 人
	計	337 人



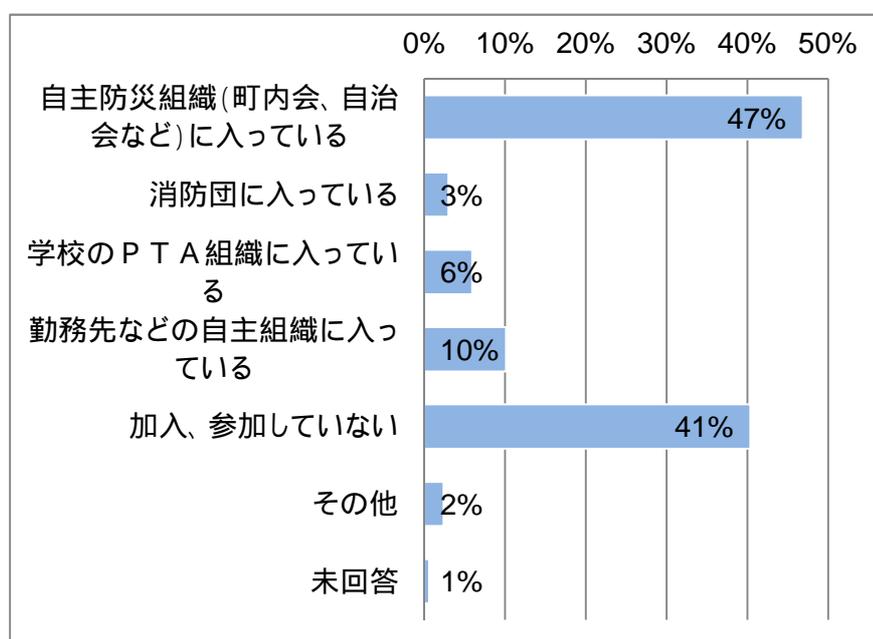
【問 13】災害が発生した場合、「自助(県民が自らの安全を自ら守るため自発的に行う防災活動)」、「共助(県民等が地域において相互に助け合い、地域の安全を確保するために行う防災活動)」、「公助(県、市町村及び防災関係機関が実施する施策その他の対策)」のうち、どのような対応をとることが望ましいと考えますか。(1つ選択)

	回答	人数
1	「自助」に重点を置いた対応をするべき	63 人
2	「共助」に重点を置いた対応をするべき	43 人
3	「公助」に重点を置いた対応をするべき	16 人
4	「自助」「共助」「公助」のバランスが取れた対応をするべき	198 人
5	わからない	14 人
6	その他	2 人
7	未回答	1 人
	計	337 人



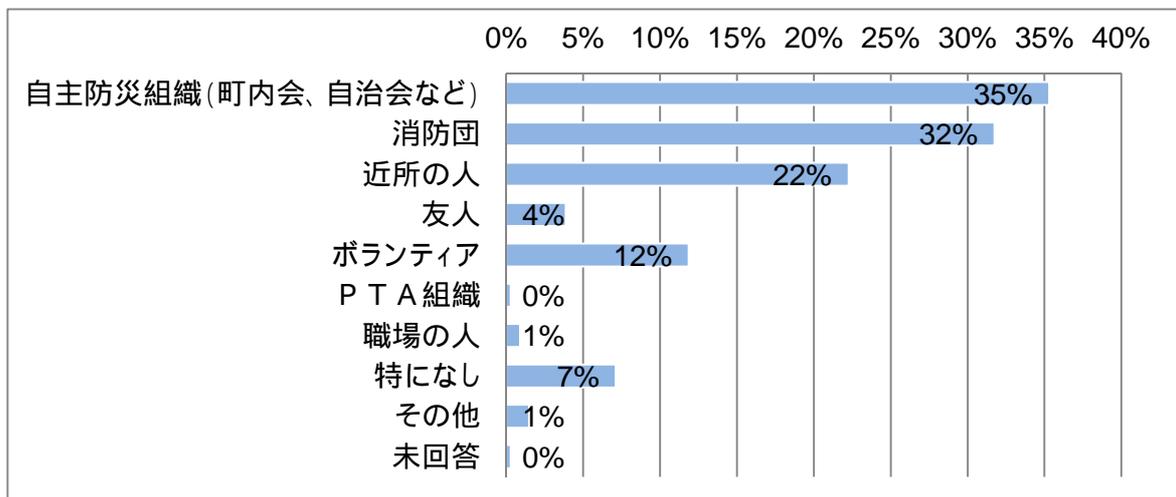
【問 14】自主防災組織（町内会、自治会など）や消防団などに加入したり、活動に参加したりしていますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	自主防災組織(町内会、自治会など)に入っている	158人	47%
2	消防団に入っている	10人	3%
3	学校のPTA組織に入っている	20人	6%
4	勤務先などの自主組織に入っている	34人	10%
5	加入、参加していない	137人	40%
6	その他	8人	2%
7	未回答	2人	1%
	計	368人	
	n	337人	



【問 15】災害発生直後に地区内の災害対応（救助、瓦礫の撤去など）を行う上で、地域のどの団体や人に期待しますか。（1つ選択）

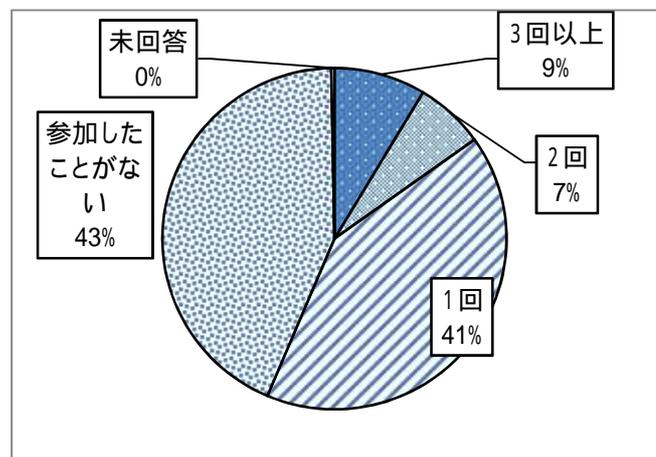
	回答	人数	割合
1	自主防災組織(町内会、自治会など)	119人	35%
2	消防団	107人	32%
3	近所の人	75人	22%
4	友人	13人	4%
5	ボランティア	40人	12%
6	PTA組織	1人	0%
7	職場の人	3人	1%
8	特になし	24人	7%
9	その他	5人	1%
10	未回答	1人	0%
	計	388人	
	n	337人	



防災訓練などについて

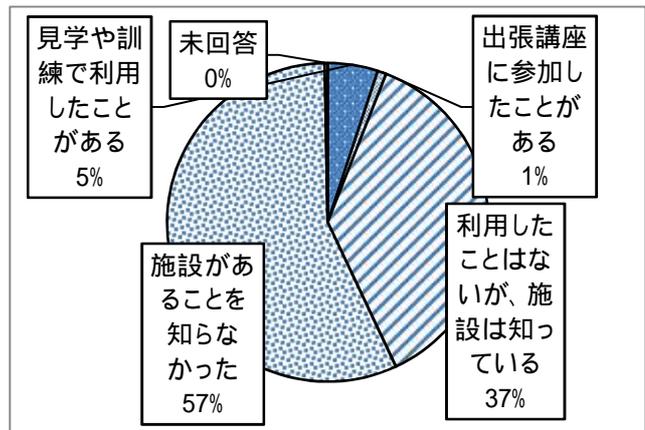
【問 16】本県や市町村、自治会などでは、自然災害を想定して防災訓練・避難訓練や防災に関するイベントを行っています。過去1年間でそれらに参加したことがありますか。（1つ選択）

	回答	人数
1	3回以上参加したことがある	29人
2	2回参加したことがある	22人
3	1回参加したことがある	139人
4	参加したことがない	146人
5	未回答	1人
	計	337人



【問 17】 県立の防災啓発施設である防災安全センター（中央市今福 9 9 1 ）を利用したことがありますか。（1つ選択）

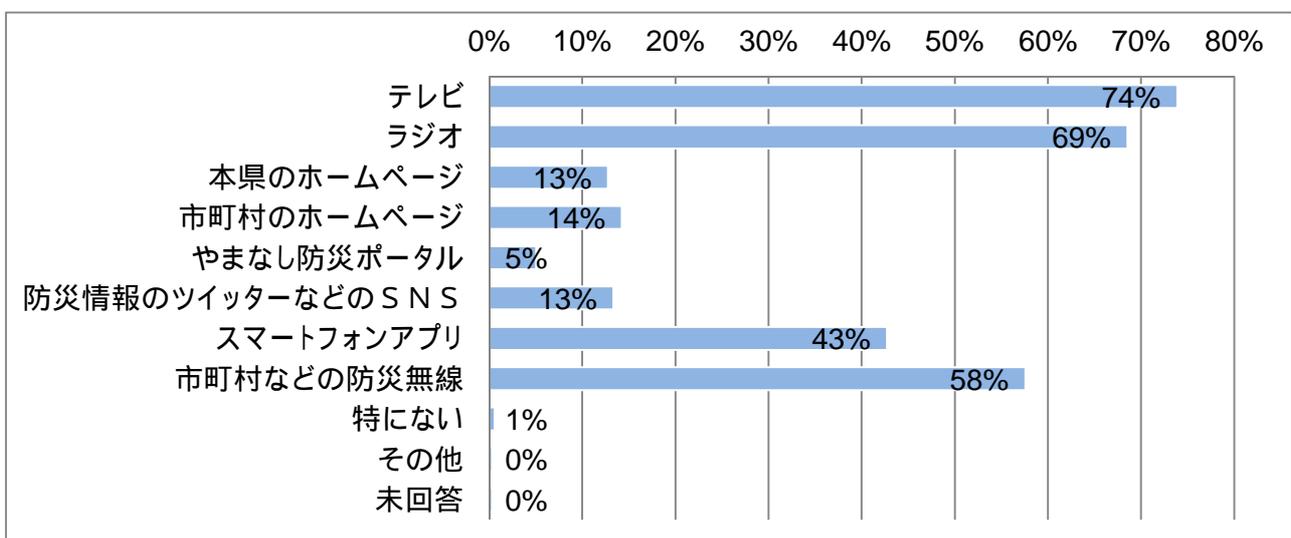
	回答	人数
1	見学や訓練で利用したことがある	17 人
2	防災安全センターが企画した出張講座に参加したことがある	3 人
3	利用したことはないが、そのような施設があることは知っている	125 人
4	施設があることを知らなかった	191 人
5	未回答	1 人
	計	337 人



防災情報に関する意識について

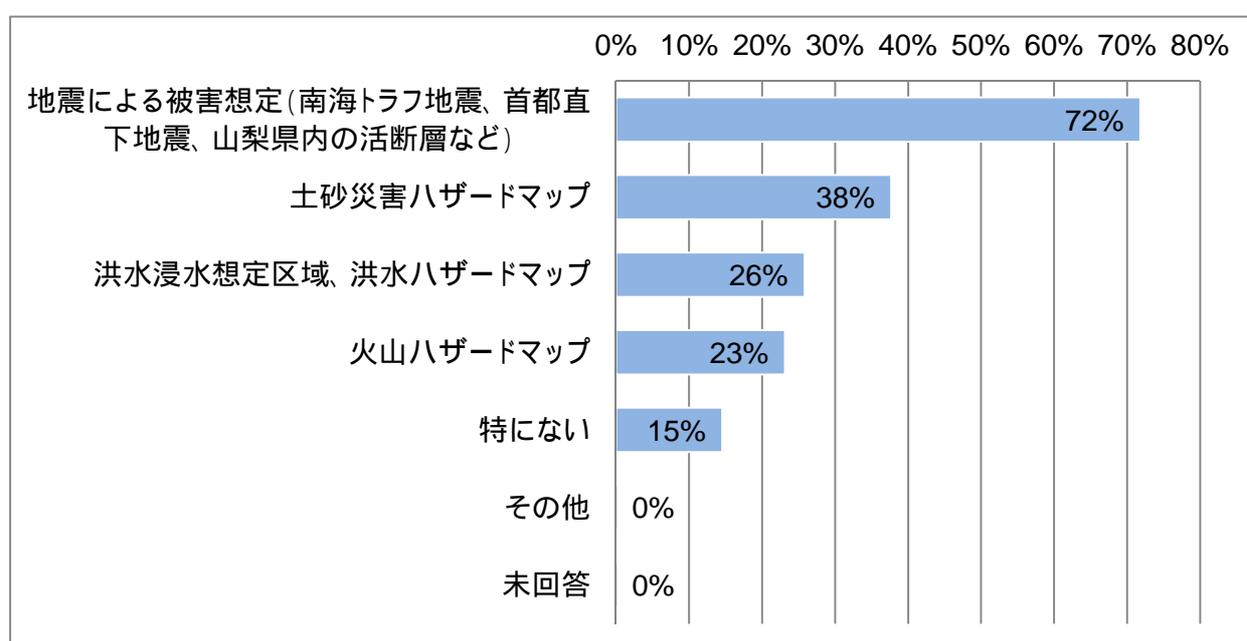
【問 18】 災害が発生した時に、どのような媒体で必要な情報（避難勧告、道路通行止めなど）を入手することを想定していますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	テレビ	249 人	74%
2	ラジオ	231 人	69%
3	本県のホームページ	43 人	13%
4	市町村のホームページ	48 人	14%
5	やまなし防災ポータル	17 人	5%
6	防災情報のツイッターなどの SNS	45 人	13%
7	スマートフォンアプリ	144 人	43%
8	市町村などの防災無線	194 人	58%
9	特にない	2 人	1%
10	その他	1 人	0%
11	未回答	1 人	0%
	計	975 人	
	n	337 人	



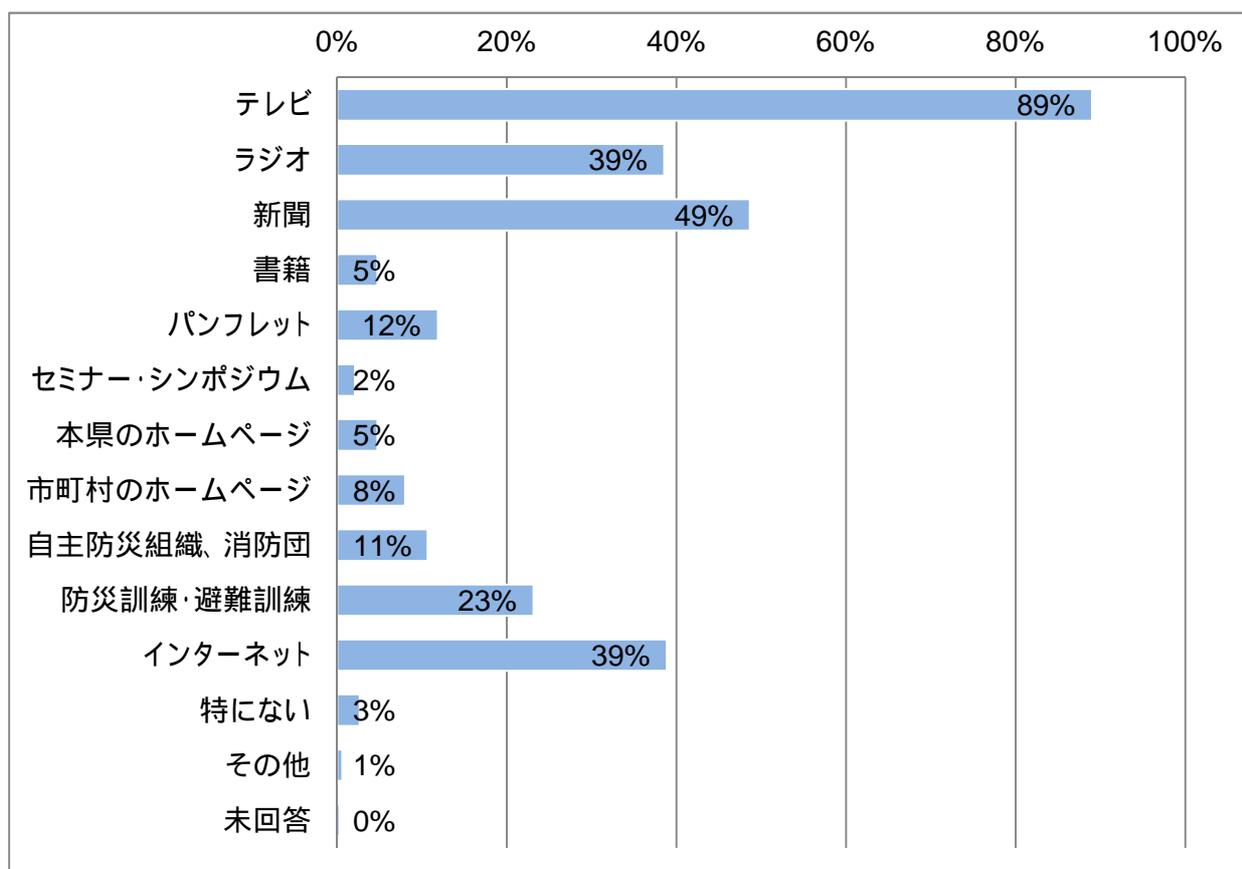
【問 19】災害の危険性に関する情報として、知っているものは何ですか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	地震による被害想定(南海トラフ地震、首都直下地震、山梨県内の活断層など)	242 人	72%
2	土砂災害ハザードマップ	127 人	38%
3	洪水浸水想定区域、洪水ハザードマップ	87 人	26%
4	火山ハザードマップ	78 人	23%
5	特にない	49 人	15%
6	その他	1 人	0%
7	未回答	1 人	0%
	計	585 人	
	n	337 人	



【問 20】 普段から災害の危険性に関する知識や情報を何によって入手していますか。(複数回答可)

	回答	人数	割合
1	テレビ	300 人	89%
2	ラジオ	130 人	39%
3	新聞	164 人	49%
4	書籍	16 人	5%
5	パンフレット	40 人	12%
6	セミナー・シンポジウム	7 人	2%
7	本県のホームページ	16 人	5%
8	市町村のホームページ	27 人	8%
9	自主防災組織、消防団	36 人	11%
10	防災訓練・避難訓練	78 人	23%
11	インターネット	131 人	39%
12	特にない	9 人	3%
13	その他	2 人	1%
14	未回答	1 人	0%
	計	957 人	
	n	337 人	

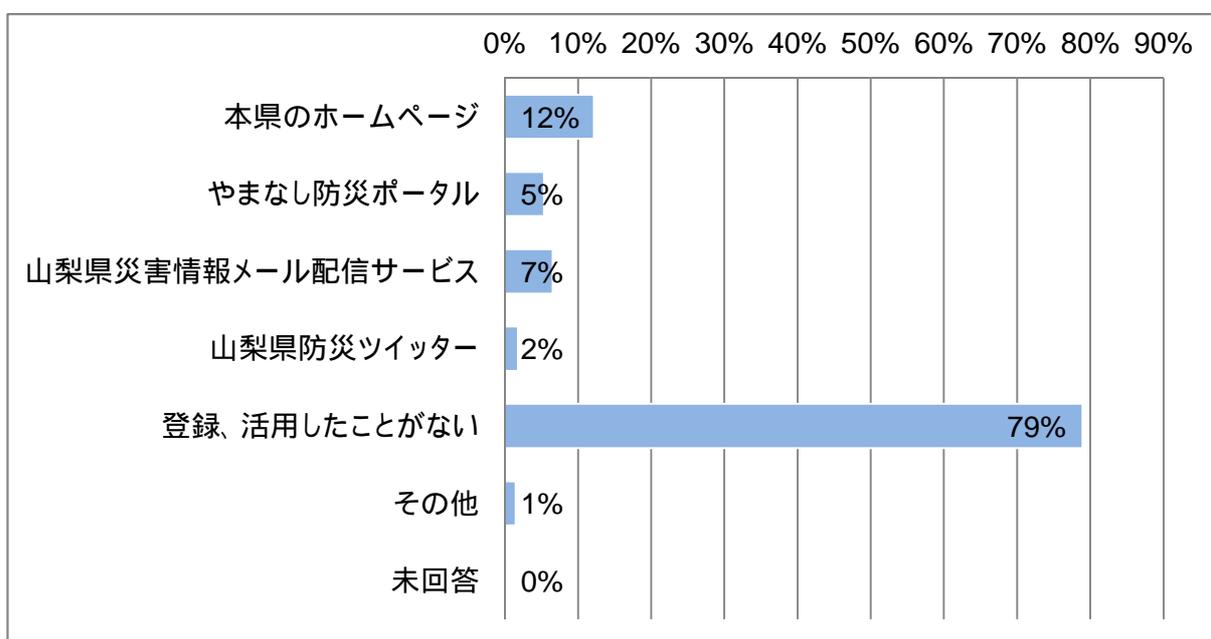


「その他」の意見

- ・会社
- ・ポスター

【問 21】本県では、災害時において、必要な情報を発信していますが、登録、活用したものはありますか。（複数回答可）

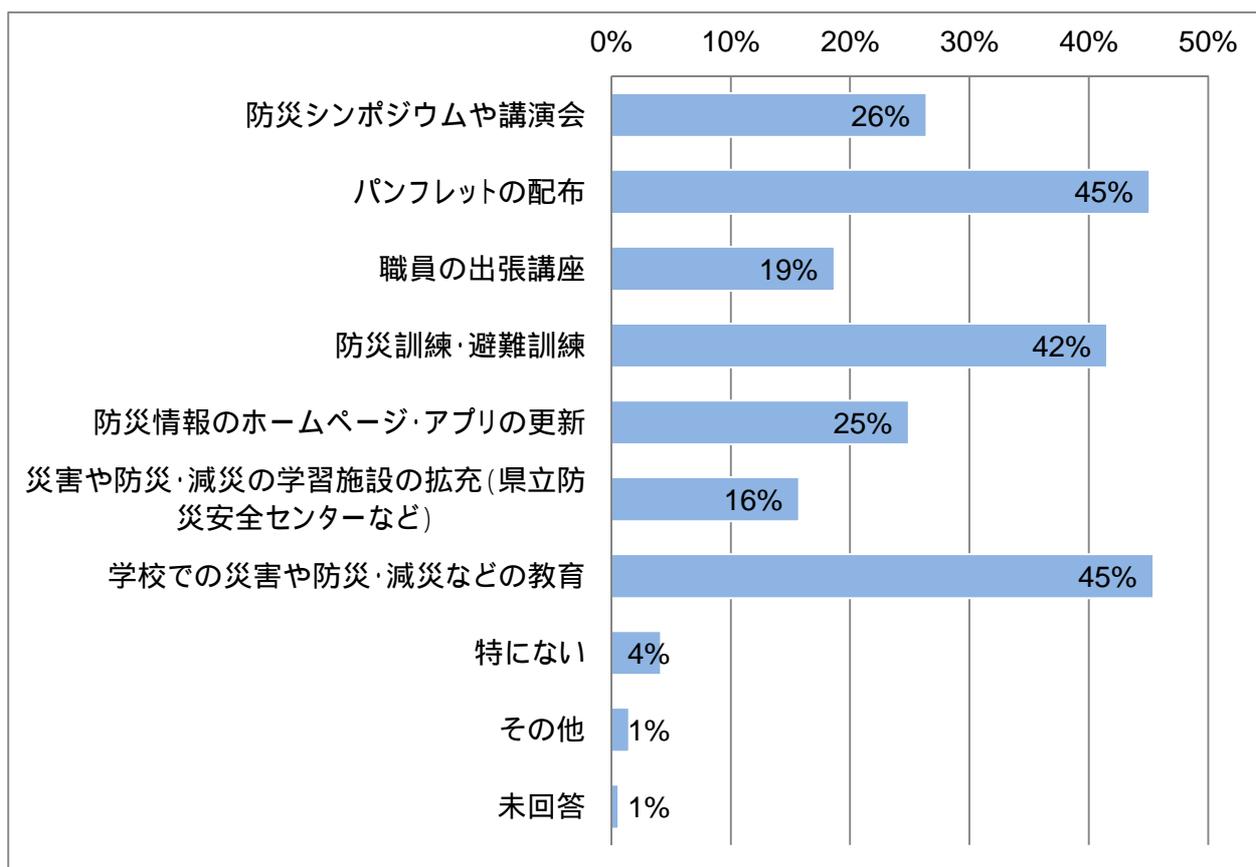
	回答	人数	割合
1	本県のホームページ	41人	12%
2	やまなし防災ポータル	18人	5%
3	山梨県災害情報メール配信サービス	22人	7%
4	山梨県防災ツイッター	6人	2%
5	登録、活用したことがない	266人	79%
6	その他	5人	1%
7	未回答	1人	0%
	計	359人	
	n	337人	



## 本県の防災対策について

【問 22】県民の皆さんに災害に対する理解を深めてもらうために、県はどのような事業を実施していくことが望ましいと考えますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	防災シンポジウムや講演会	89人	26%
2	パンフレットの配布	152人	45%
3	職員の出張講座	63人	19%
4	防災訓練・避難訓練	140人	42%
5	防災情報のホームページ・アプリの更新	84人	25%
6	災害や防災・減災の学習施設の拡充(県立防災安全センターなど)	53人	16%
7	学校での災害や防災・減災などの教育	153人	45%
8	特にない	14人	4%
9	その他	5人	1%
10	未回答	2人	1%
	計	755人	
	n	337人	

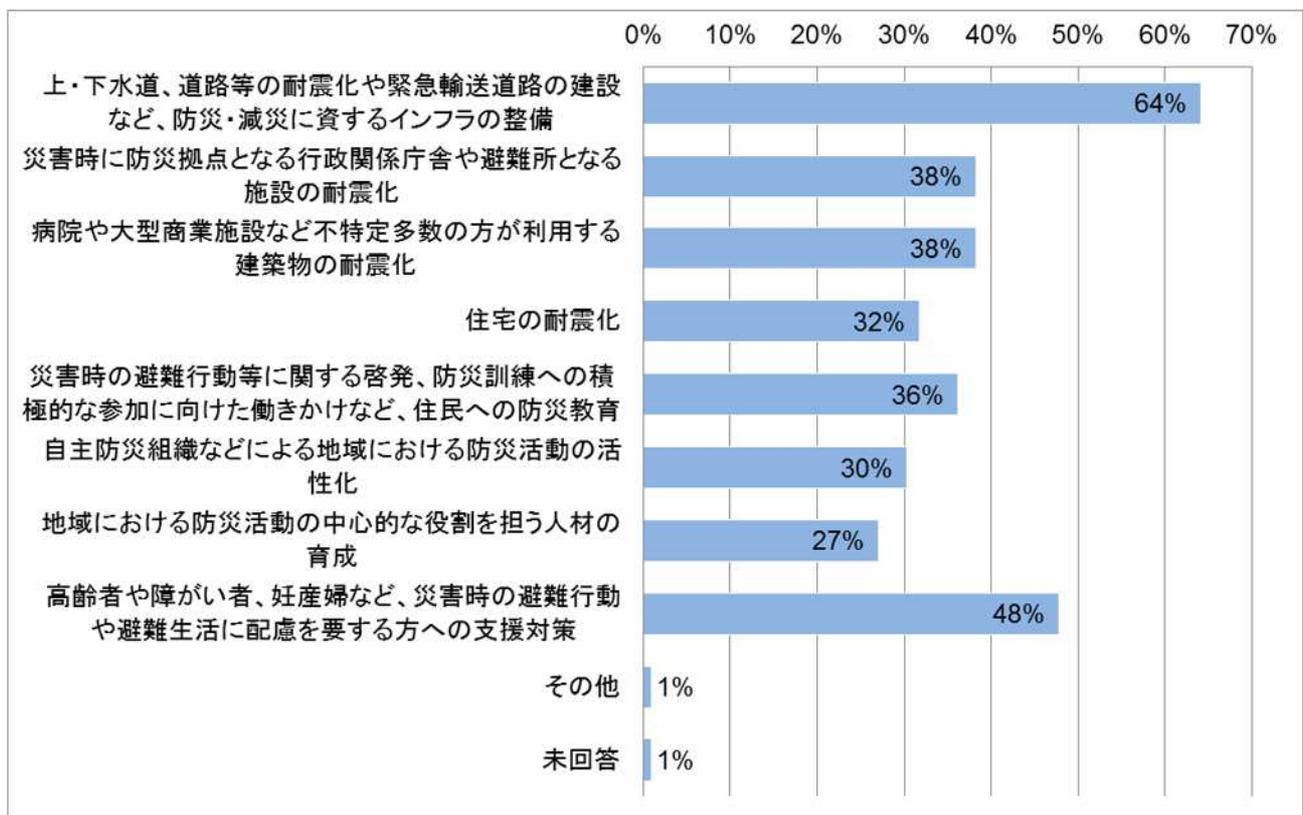


### 「その他」の意見

- ・ 講座や施設に行くのは難しいため、広報等に載せてもらいたい。
- ・ メディアなどによる発信
- ・ 避難所の運営方法、役割を決めたりする訓練が必要

【問 23】本県が、今後特に力を入れて取り組むべき防災対策は何だと思えますか。（複数回答可）

	回答	人数	割合
1	上・下水道、道路等の耐震化や緊急輸送道路の建設など、防災・減災に資するインフラの整備	216 人	64%
2	災害時に防災拠点となる行政関係庁舎や避難所となる施設の耐震化	129 人	38%
3	病院や大型商業施設など不特定多数の方が利用する建築物の耐震化	129 人	38%
4	住宅の耐震化	107 人	32%
5	災害時の避難行動等に関する啓発、防災訓練への積極的な参加に向けた働きかけなど、住民への防災教育	122 人	36%
6	自主防災組織などによる地域における防災活動の活性化	102 人	30%
7	地域における防災活動の中心的な役割を担う人材の育成	91 人	27%
8	高齢者や障がい者、妊産婦など、災害時の避難行動や避難生活に配慮を要する方への支援対策	161 人	48%
9	その他	3 人	1%
10	未回答	3 人	1%
	計	1063 人	
	n	337 人	

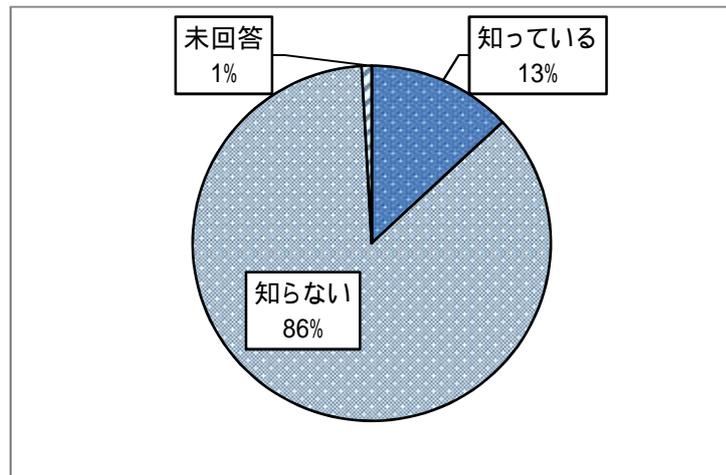


「その他」の意見

- ・自主防災組織に助成金を出して防災用具を少しでも備える
- ・危険場所のきめ細かい調査と想定外を考えた公的な対応を急ぐ

【問 24】本県では、災害に強い地域社会の実現を図ることを目的に「山梨県防災基本条例」、「防災・減災に向けた取組指針」を策定したところですが、あなたは知っていますか。(1つ選択)

	回答	人数
1	知っている	44人
2	知らない	290人
3	未回答	3人
	計	337人



【問 25】本県の防災対策について御意見や御提案などがありましたら、回答用紙にご自由にお書きください。

- ・山梨県は、南海トラフ地震、活断層地震、富士山の噴火など、必ず来るであろう災害への不安が大きいです。そのための対策と普段から近所の人との交流をしておくことが大切だと思いました。
- ・基本は自助だと思う。各家庭で準備しておくものなどの品名・数量などが判るとよい。毎月1日は防災の日と定め、教育・PRを行うと共に、備蓄した食料品で食事を作るなど、日頃から各家庭で訓練しておいたら良いと思う。
- ・高齢者の防災意識を高めるためには、講演会や講座のような会場へ出かけるのは大変なので、地域の活動家などによる対面での説明や心がけなど、また相談等納得できる指導が大切だと思います。その際に分かり易いパンフレットの配布は有効だと思います。
- ・災害が起きた時の不安を抱えながらも、自宅にどんな影響、どんな被害があるだろうかと具体的に調べた事がありませんでした。公共機関が発信している情報や設備も知らず、今回のアンケートを通して、災害を身近に捉え、情報収集が必要と思いました。
- ・今まで大きな被害が少ない山梨県は、県民の防災意識が低いと思います。南アルプスには活断層があるので、県民はもっと高い知識を持つべきだと実感します。大阪北部地震をみて、改めて日頃からの防災意識が必要だと感じました。
- ・近年、自然災害について、以前よりも注目している方が多いと思う。避難場所や防災に対する知識など、インターネットを活用し、若い人へ認知してもらうことも大切ではないかと思う。
- ・災害時にリーダーシップをとれる組織が各地域にあればよいと思います。ご近所の助け合いが非常に重要になると思います。
- ・県が実施している施策を知らないことが多いのに気づかされた。もっと県民にPRしたほうが良いと思います。
- ・災害大国日本に暮らしながら、県民一人ひとりが、突然の災害に備える知識をもっと高めなければいけないと、改めて感じました。そのためには、市町村との連携を更に深めたり、自治体、学校等への防災教育、訓練への参加を促すような講演会などをより増やしていただきたいと思います。
- ・山梨県は、他の都道府県に比べて自然災害は少ないかと思っていますが、数年前の大雪では道路の雪がなかなか溶けず、出勤や買い物に苦労した事を覚えています。災害は少ないとは思いますが、雨や雪の影響で流通が止まってしまう事に不便さを感じます。

など